

熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2015

黒毛和種種雄牛「福久桜」の選抜



ふくひさざくら

安福久

第4ひろみ

- 安福(岐阜)
 - 安福165の9
 - しげふじ13の7
- もとじろう
 - 紋次郎
 - もとひかり
- 福桜(宮崎)
 - 隆桜
 - きよふく
 - 系弘2
- 203ひがしわき
 - 第1いつみ4

問 研究のねらいは？

答 全国に通用する優良な県産黒毛和種種雄牛の作出が望まれており、生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 脂肪交雑やロース芯面積の大きさに優れた成績をもち、育種価における脂肪交雑の評価においては、基幹種雄牛である「平茂幸」を上回る能力をもつ種雄牛です。

【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(5・4等級率)
去勢 14 頭	28.6	460.3	59.1	7.4	2.5	74.0	6.21	64.3% (9/14)
雌 11 頭	28.7	447.2	52.2	7.8	3.3	72.8	5.45	54.5% (6/11)

【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	492kg
ロース	67cm ²
バラ厚	7.2cm
BMSNo.	11
等級	A5

形質	程度	-1	0	1	2	3	程度	SBV
枝肉重量	小さい						大きい	0.64
ロース芯面積	小さい						大きい	1.71
バラの厚さ	薄い						厚い	0.71
皮下脂肪	厚い						薄い	-0.20
脂肪交雑	少ない						多い	1.91

標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる